

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会 議 名	平成 28 年度 第 2 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 28 年 10 月 17 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分
開催場所	益田市匹見総合支所 大会議室
出席者	・ 匹見地域協議会委員 (7 名) ・ 匹見総合支所：山口支所長 住民福祉課：藤井課長、桐木補佐、小田 地域づくり推進課：靱田課長 建設課：露口課長

【会長あいさつ】

合併後 10 年経過し、顧問制度が廃止されて以来 2 年目となった。その際、市長は万難を排し出席するということがあったが、本日は都合がつかず欠席である。地域協議会は地域の課題に対し協議する重要な場であるので出席して欲しい。意見を聞きながらより良い地域づくりを目指したい。

【報告事項】

(1) 住民福祉課の取り組みについて<住民福祉課長より説明>

① 匹見保育所の指定管理者の選定について

匹見保育所の指定管理者は、今年度をもって 5 年間の指定期間を満了するため、平成 30 年度からの指定管理者を選定する必要がある。前回同様に公募により選定することとなり、現在、指定管理候補者を選定したところである。12月の定例議会で議決を受けた後、正式に決定となる。

② 第 21 回 匹見峡紅葉ロードレースの開催について

11月13日(日)に例年通り行う。現在のところ 221 組 277 人から申込を頂いている。

③ 道川小学校の再編について

来年 4 月に匹見小学校に統合する同意書が 6 月 8 日付けで提出された。これを受け、学校教育課が中心となり道川地区の学校再編対策協議会と統合にむけた協議を行っている。

今後、12月に覚書の締結、3月の閉校に向け協議を進める。

④ 美濃地屋敷の茅葺屋根の葺き替えにむけた検討について

屋根の傷みが激しくなっている状況がある。茅の確保、保管場所の確保、職人の確保等様々な問題があり、現在計画、検討中である。

(2) 地域づくり推進課の取り組みについて<地域づくり推進課長より説明>

① がんばる地域応援事業について

地域活性化センターの採択を受け、6月補正で予算措置している。国をあげて外国人誘客、海外のお客様を受け入れることによる地域活性化で、外国人を受け入れるための環境整備を図るとともにモニターツアーを実施することで交流人口の拡大を目指すことと、外国の方と地域の子供たちとの交流による人材づくりを目的とする事業採択をいただいたものである。10分の10の助成事業である。岩国からの受け入れ、11月にフランス人ツアーの受け入れも予定している。

②山のみちプロジェクト事業について

林道匹見美都線、林道美都線、については平成29年度から工事が予定されている。
林道春日山線については、今年度71メートル実施する予定で入札が終わっていると県から報告があった。

③匹見健康センターバイオマスボイラーの導入事業の状況について

本年度4月から9月までの燃料費の状況を平成27年度と対比し、金額にして月32万円程度、率にして63%程度減少しており、ほぼ予定通り推移している。燃料費の節減のみでなく間伐材の活用と環境整備、資源循環による地域内の経済効果も含め事業を進めながら状況を確認していきたい。薪の燃焼による煙の問題も地元から申し入れがあり説明会を実施した。また、フィルターを煙突に設置する追加工事を実施し、対応している。

3基あるろ過機が老朽化しているため、6月に改修費を補正予算計上しており、11月に入札する予定としている。

(3) 建設課の取り組みについて<建設課長より説明>

①益田市水道事業の統合の延期について

益田市の簡易水道は平成28年度末に上水道と統合する予定で準備をすすめている。しかし、国庫補助金等の大幅な削減により事業を実施することが大変困難な状況にある。統合後に残った事業を実施すると補助事業の対象が限定されるため単独事業で実施せざるを得ず、事業経営に重大な影響を与えることになる。こうしたことから統合時期を1年間延期することとなった。

平成28年度の補助金の状況について、厚生労働省からの事務連絡で、国費カットに対し、それを補う単独費が充てられず統合延期も可ということであった。益田市としては、1億2千3百万円要求していたが、内示額は、7千9百万円で、国費率は64.3パーセントくらいとなる。益田市の現在の財政状況でこれを補う一般財源の投入は非常に困難であることから延期することとなった。統合スケジュールについては、出合原、落合飲料水供給施設、小原飲料水供給施設の配水管の改良をすすめている。匹見簡水について一部整備が残っている。小原簡水の水源地整備については、来年度にまわし、平成29年度末に事業を終え、30年度からの事業統合という計画ですすすめている。

②特定公共賃貸住宅の単身入居について

この住宅は、公営住宅の収入基準を超える中堅所得者向けの住宅ということで、県の住宅供給公社に管理運営を委託している。

益田市内に12戸、匹見地域に4戸あり、入居要件は、持ち家が無く住宅に困窮している事。同居する家族がいること。収入月額が15万8千円を超え48万7千円未満である事等である。

この入居要件を、匹見地域の諏訪、澄川住宅について単身での入居も可とすることになった。このことにより、匹見地域での人口拡大、および特公賃住宅の空き家解消が促進されることが期待でき、9月定例議会で条例改正案が可決された。

③市道内谷線谷口工区の改良について

地権者の合意が得られなかったため、未改良区間100メートルがあったが、昨年、再交渉において合意を得た。

現在、測量調査設計が済み、用地測量についても発注した。今年度中に用地買収を行い、来年度改良工事を行う予定としている。

④市道の橋梁点検について

道路法施行令の改正に伴い、全国一斉に全橋梁の点検が義務つけられた。匹見地内には123橋あ

り、平成27年度から30年度に4分の1ずつ行うことにしている。昨年34橋の点検を行い、H28年度は、35橋行う計画としている。点検結果は、判定委員会にかけ、修繕が必要であればそのまま修繕を行う。

⑤匹見中央公園の整備について

都市公園の長寿命化対策事業を適用し、整備を行っている。この事業は、老朽化している施設を長寿命化することにより、安全安心して利用できるような整備を図る目的となっている。平成28年度は、テニスコート2面の人口芝の張替を行うこととしており、来年度については、残りのテニスコート2面と、グラウンドゴルフ場の整備を予定している。

《質疑・意見》

- 地域協議会の存在価値を再認識して欲しい。町内の色々な問題に対して市はどう対応しているのか。どう対応してほしいとか、協議することが地域協議会の在り方と思う。市長にも聞いて頂かないと、この協議会の存在価値が無い。協議があつての報告である。市長との日程調整に支所の配慮が必要だ。
▷ 市長がこちらに来られなかったということについては、支所の調整不足ということで、大変申し訳ない。基本的には市長も参加したいということであるが、今回についてはうまく日程調整がつかず申し訳ない。地域協議会も活発な議論ができるような協議会にできればと思っている。

- 道川小学校の再編について跡地利用について、道川地区で色々協議したが、校舎が使用できない状況となるらしい。今後、覚書を交わすにあたり、細部まで決めておいたほうがいいのか。委員の皆さんのお考え、支所の対応についてお聞かせ願いたい。

▷ 先日、対策協議会の中で突然校舎が使用できないという話が出てきたという状況があった。支所のほうもその場で初めて聞いたという状況である。支所としても校舎を色々活用できるかと考えていたが、教育委員会のほうから突然そういう見解が示されたということで、どう対応していいか検討がこれから始まるというところである。もう一度、倉庫としての使い方を含め全く無理なのかしっかり確認してみようと思っている。

- 道川地域の人が、跡地をどう活用していくのかということをしつかり話し合いをする必要がある。地元が、本当にそれを活用できるのかをよく話し合い、活用できるということであれば本当にやらないといけない。地域協議会としては、道川地区学校再編対策協議会が一生懸命頑張ってお出した要望については全面的に協力する。

- 美濃地屋敷の茅葺きについて、基金を使いながら2年に分けて葺き替える方法もある。暫時順番にやっていけば良いのではないか。美濃地屋敷をこの先どうしていくのか、市長の考えを聞きたい。

▷ これまでに、葺き替えの検討をしてこなかった事にも問題がある。10年前に改修した時の茅が良くないものでなかったということもあり、傷みがかなり進んでいる。今回、以前からストックしていた茅を使用し、一部補修した。今後、茅をどう確保するかということをもまず考え、補修しながら維持管理していく。建物は、文化的価値の高い建物で、文化財課と協議をしながら、文化財の指定ができないか、国の財源が取れないか検討していく。

自治組織の中で調達、地元で栽培して市で買い入れるという風な事も一つの取り組みとして考えられるのではないかと考えている。

- バイオマスボイラーの導入について、煙の対策はフィルター入れるぐらいで大丈夫か。

- ▷ 同様のボイラーを導入した民間企業で、同様の対策を講じ、煙突を長くしたところがあり、ある程度の効果が出ているという実証もあるため、これで状況を見ようということである。木の湿度や、慣れないこともあり、想定外の煙が出た。ずいぶん落ち着いてきているが、確認しながらフィルターを入れる工事をさせていただくということで地元の説明をしている。煙突の長さは変えていない。
- 温泉内の「駅」がなくなると聞いたがどうか。
 - ▷ 12月いっぱいまで廃止する会社の経営判断である。
- バイオマスボイラーに変えて、黒字にはならないのか。
 - ▷ 現在進行中であり、1年が終わってみて年間のコストが見えてくる部分がある。2年目から新たに出てくる経費もある。
コスト面だけでなく、自伐林業のサイクルをつくっていくということもある。環境的にも化石燃料から循環型の燃料にかえていこという環境的な目的もある。そういったトータルで評価いただける形になればいいと思っている。
- 薪ボイラーは、煙も灰も出ない、燃焼効率が高く、問題ないと説明を受けたが、現状は違っているようだがどうか。
 - ▷ 燃焼がピークに達すると煙は殆ど出ないというボイラーで、それに達するまでは煙は発生するということがある。薪の供給については、原料の木材は大量にストックがあるが、それを割る手間が無く、薪に加工することが大変だと聞いている。
- 荒木住宅等古くなった住宅を解体するという話があったが、それはどうなったのか。
 - ▷ 現在、財政的に取り掛かるのが困難な状況で、保留となっている。
- 益田市は、人口拡大を掲げているが住宅の数を減らしたままでいいのか。
 - ▷ 活用されていなかった特公賃住宅や、活用していない教員住宅もある。こうした今あるものをうまく活用するところから始めてみて、なおかつ足りないのであれば次を考えるというプロセスになるのではないかと考えている。
- 橋梁点検は、昨年、今年で終了するか。
 - ▷ 台帳上123橋あるので後、2年継続して行う。橋梁点検車が入らない、比較的長い橋がいくつかある。それは足場を組んでやるしかない。それは年間2つくらいしか点検できないので工夫してやらないと済まない状況である。
- 国の指導での点検であろうが、補助率はいくらか。
 - ▷ 5分の3補助金が入る。
- 点検結果が悪ければどうするのか。
 - ▷ 緊急修繕をしなければならない。匹見で点検が終了したものについて、まだ判定結果が出ていない。
- 匹見中央公園の多目的広場をグラウンドゴルフ場にする考えはないか。温泉の集客につなげるために野球場のサブとして使用するだけでなく、転換を考えてはどうか。
 - ▷ 匹見地域では、温泉と連携したグラウンドゴルフ場の活用は、十分承知しており、市長とも協議しているが、経費や事業効果等の面で検討しなくてはならない部分が多くあり、保留となっている。
- テニスコートの利用人数はどれくらいか。
 - ▷ 平成25年440人。平成26年445人。平成27年366人。

- 来年度の予算について、大幅なカットとなると聞いたが、できれば早い段階で知ることはできないか。
 - ▷ 議決前の要求段階で資料を出すことはできないが、協議会の中で協議が必要な部分については協議させていただきたい。

- 地域協議会が出した、新市建設計画の執行状況に関する意見書を、支所が良く点検しながら進めてほしい。

- 支所の役割について合併時の約束事を年月が経過するに従い放置されているような気がする。検証をしていかないといけない。住民は支所を頼りにしている。職員は支所の役割を認識して欲しい。